



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月5日

上場会社名 株式会社住友倉庫

上場取引所 東大

コード番号 9303 URL <http://www.sumitomo-soko.co.jp/>

代表者 (役職名) 社長 (氏名) 安部 正一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 米満 聡

TEL 06-6581-1183

四半期報告書提出予定日 平成24年11月8日

配当支払開始予定日

平成24年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|------|-------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 25年3月期第2四半期 | 76,869 | 12.5 | 5,062 | △0.5 | 5,544 | △0.3 | 3,189 | 3.4 |
| 24年3月期第2四半期 | 68,303 | 5.0 | 5,089 | 3.1 | 5,563 | 1.5 | 3,084 | △6.2 |

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 1,041百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △201百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年3月期第2四半期 | 17.89 | 17.89 |
| 24年3月期第2四半期 | 17.30 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|---------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 25年3月期第2四半期 | 235,045 | 120,238 | 48.5 |
| 24年3月期 | 245,092 | 120,287 | 46.6 |

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 114,003百万円 24年3月期 114,181百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期 | — | 5.00 | — | 6.00 | 11.00 |
| 25年3月期 | — | 5.50 | — | — | — |
| 25年3月期(予想) | — | — | — | 5.50 | 11.00 |

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|---------|------|--------|-----|--------|-----|-------|-----|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 155,000 | 10.9 | 10,300 | 7.1 | 11,200 | 6.9 | 6,600 | 1.4 | 37.01 |

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、4ページ「2. (1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、4ページ「2. (2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | | |
|------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 25年3月期2Q | 195,936,231 株 | 24年3月期 | 195,936,231 株 | |
| ② 期末自己株式数 | 25年3月期2Q | 17,616,830 株 | 24年3月期 | 17,614,980 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 25年3月期2Q | 178,320,407 株 | 24年3月期2Q | 178,326,496 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通しの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 4 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 4 |
| (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 9 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 10 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 12 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 12 |
| (6) セグメント情報等 | 12 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧州の政府債務危機の影響が続き、中国をはじめとする新興国においても成長が鈍化するなど、次第に景気減速感が強まりました。日本経済は、期初は復興需要などを背景に緩やかな回復傾向を示したものの、世界経済の減速や歴史的な円高水準の長期化により生産や輸出が減少に転じるなど、景気後退懸念が高まってまいりました。

このような情勢のもとで、当社グループは、物流事業では海外ネットワークの更なる拡充のためベトナムに現地法人を設立したほか、中国・上海において新会社の設立に向け合弁契約を締結するなど海外展開を推進しました。一方、国内では文書等情報記録媒体の管理サービスを提供するアーカイブ事業の拡充などに取り組みました。また、海運事業では輸送数量の維持・拡大を図るとともに、不動産事業ではテナントの確保及び賃貸料水準の維持に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間は、物流事業では世界経済の減速や円高などの影響から港湾運送や国際輸送を中心に貨物の取扱いが減少しましたが、不動産事業は堅調に推移し、海運事業は昨年9月に実施した米国の海運会社Westwood Shipping Lines, Inc.の子会社化が寄与したことから、営業収益は768億6千9百万円と前年同期比12.5%の増収となりました。また、営業利益は港湾運送や国際輸送等の取扱減少に加えて、前期に竣工した倉庫施設の減価償却費の計上等があり前年同期並みの50億6千2百万円(前年同期比0.5%減)、経常利益も前年同期並みの55億4千4百万円(前年同期比0.3%減)となりました。四半期純利益は特別損益が前年同期に比べ改善したことから31億8千9百万円と前年同期比3.4%の増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①物流事業

倉庫収入は、貨物保管残高が堅調に推移したほか、前期に稼働した羽生アーカイブセンターの新施設(埼玉県羽生市)における文書等情報記録媒体の取扱いが寄与したことから111億2千5百万円(前年同期比3.7%増)となりました。港湾運送収入は、コンテナ荷捌が船会社の航路再編等があり取扱いが減少し、また、一般荷捌も円高や世界経済減速の影響等により輸出貨物を中心に低調な取扱いとなったことから184億2千6百万円(前年同期比6.7%減)となりました。国際輸送収入は、航空貨物の取扱いやプロジェクト輸送が低調であったほか、一貫輸送も日本・欧州間を中心に減少したことなどから127億5百万円(前年同期比6.6%減)となりました。陸上運送ほか収入は、物流施設賃貸収入は前年同期を上回りましたが、荷動きが低調であったことにより陸上運送収入が減少したことなどから190億6千3百万円(前年同期比2.7%減)となりました。

以上の結果、物流事業全体の営業収益は613億2千万円(前年同期比3.7%減)、営業利益は40億9千1百万円(前年同期比3.1%減)となりました。

②海運事業

営業収益は111億5千8百万円となり、営業利益は海上運賃の下落及び船舶燃料油価格の高騰に加え、のれん償却もあり、1億3百万円にとどまりました。

③不動産事業

一部の賃貸物件におけるテナントの新規入居が寄与したことから、営業収益は49億6百万円(前年同期比1.5%増)となりましたが、減価償却費等の増加等により営業利益は前年同期並みの27億6千8百万円(前年同期比0.5%増)となりました。

- (注) 1. 上記のセグメントの営業収益には、セグメント間の内部営業収益5億1千5百万円(前年同期2億6百万円)を含んでおります。
2. 上記のセグメントの営業利益は、各セグメントに帰属していない全社費用等19億円(前年同期18億8千8百万円)控除前の利益であります。

セグメント別の営業収益内訳

| 内訳 | 前第2四半期 連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) | 当第2四半期 連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) | 前年同期比増減 | |
|--------------|---|---|-----------|--------|
| | | | 増減額 | 比率% |
| 物流事業 | 63,675百万円 | 61,320百万円 | △2,355百万円 | △3.7 |
| (倉庫収入) | (10,733) | (11,125) | (391) | (3.7) |
| (港湾運送収入) | (19,747) | (18,426) | (△1,320) | (△6.7) |
| (国際輸送収入) | (13,599) | (12,705) | (△894) | (△6.6) |
| (陸上運送ほか収入) | (19,595) | (19,063) | (△532) | (△2.7) |
| 海運事業 | — | 11,158 | 11,158 | — |
| (海運事業収入) | (—) | (11,158) | (11,158) | (—) |
| 不動産事業 | 4,835 | 4,906 | 70 | 1.5 |
| (不動産事業収入) | (4,835) | (4,906) | (70) | (1.5) |
| 計 | 68,510 | 77,385 | 8,874 | 13.0 |
| セグメント間内部営業収益 | △206 | △515 | △308 | △149.3 |
| 純営業収益 | 68,303 | 76,869 | 8,565 | 12.5 |

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態について、資産合計は、借入金の返済及び船舶取得費用の支払等により「現金及び預金」が減少したほか、株式相場の下落により「投資有価証券」が減少したため、前連結会計年度末比100億4千6百万円減の2,350億4千5百万円となりました。また、負債合計は、「短期借入金」の返済及びその他有価証券評価差額に係る「繰延税金負債」の減少等により、前連結会計年度末比99億9千7百万円減の1,148億7百万円となりました。純資産合計は、四半期純利益の計上により「利益剰余金」が増加しましたが、「その他有価証券評価差額金」の減少により、前連結会計年度末比4千8百万円減の1,202億3千8百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益及び減価償却による資金の留保等により69億8千万円の増加となり、前年同期(53億5千1百万円の増加)を16億2千9百万円上回りました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により77億1千7百万円の減少となり、前年同期(54億3千2百万円の減少)を22億8千4百万円下回りました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済及び期末配当金の支払等により95億2千5百万円の減少となり、前年同期(3百万円の減少)を95億2千2百万円下回りました。

当第2四半期連結累計期間の連結キャッシュ・フローは、以上の結果に「現金及び現金同等物に係る換算差額」(2億4百万円)を加えた全体で100億5千7百万円の減少となり、現金及び現金同等物の四半期末残高は、126億4千6百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は、倉庫や不動産が堅調に推移する一方、港湾運送や国際輸送の取扱いが減少しておりますので、平成24年5月10日に公表しました通期の連結業績予想について、営業収益を以下のとおり修正いたします。

平成25年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

| | 営業収益 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------|----------------|---------------|---------------|--------------|----------------|
| 前回発表予想(A) | 百万円 157,000 | 百万円 10,300 | 百万円 11,200 | 百万円 6,600 | 円 銭 37.01 |
| 今回修正予想(B) | 155,000 | 10,300 | 11,200 | 6,600 | 37.01 |
| 増減額(B-A) | △2,000 | — | — | — | — |
| 増減率(%) | △1.3 | — | — | — | — |
| (ご参考) 前期実績(平成24年3月期) | 139,786 | 9,616 | 10,473 | 6,511 | 36.51 |

(参考)

平成25年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

| | 営業収益 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------|---------------|--------------|--------------|--------------|----------------|
| 前回発表予想(A) | 百万円 82,000 | 百万円 6,800 | 百万円 8,100 | 百万円 5,100 | 円 銭 28.60 |
| 今回修正予想(B) | 81,000 | 6,800 | 8,100 | 5,100 | 28.60 |
| 増減額(B-A) | △1,000 | — | — | — | — |
| 増減率(%) | △1.2 | — | — | — | — |
| (ご参考) 前期実績(平成24年3月期) | 83,389 | 6,963 | 7,873 | 5,079 | 28.48 |

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一部の連結子会社においては、税金費用の計算にあたり、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間から、平成24年4月1日以後に取得した定率法を採用している有形固定資産の減価償却の方法について、改正後の法人税法に基づく定率法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ14百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 32,254 | 21,523 |
| 受取手形及び営業未収入金 | 17,920 | 17,614 |
| 有価証券 | 4 | — |
| 販売用不動産 | 94 | 80 |
| 仕掛品 | 41 | 116 |
| 繰延税金資産 | 943 | 912 |
| その他 | 4,185 | 3,573 |
| 貸倒引当金 | △146 | △121 |
| 流動資産合計 | 55,297 | 43,699 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 61,267 | 61,327 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 2,801 | 2,825 |
| 船舶(純額) | 4,691 | 9,039 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 895 | 892 |
| 土地 | 46,231 | 46,269 |
| 建設仮勘定 | 456 | 1,018 |
| その他(純額) | 202 | 226 |
| 有形固定資産合計 | 116,546 | 121,600 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 3,687 | 3,560 |
| 借地権 | 4,319 | 4,802 |
| ソフトウェア | 1,460 | 1,391 |
| その他 | 495 | 716 |
| 無形固定資産合計 | 9,962 | 10,470 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 54,073 | 49,871 |
| 長期貸付金 | 621 | 445 |
| 繰延税金資産 | 2,298 | 2,362 |
| その他 | 6,658 | 6,964 |
| 貸倒引当金 | △366 | △368 |
| 投資その他の資産合計 | 63,285 | 59,275 |
| 固定資産合計 | 189,795 | 191,346 |
| 資産合計 | 245,092 | 235,045 |

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び営業未払金 | 11,376 | 10,947 |
| 1年内償還予定の社債 | — | 50 |
| 短期借入金 | 29,388 | 21,657 |
| 未払法人税等 | 2,154 | 1,964 |
| 賞与引当金 | 1,441 | 1,598 |
| その他 | 5,103 | 5,552 |
| 流動負債合計 | 49,464 | 41,771 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 500 | 450 |
| 長期借入金 | 46,952 | 46,301 |
| 繰延税金負債 | 11,439 | 10,070 |
| 退職給付引当金 | 3,024 | 2,724 |
| 役員退職慰労引当金 | 108 | 109 |
| 長期預り金 | 12,286 | 12,367 |
| その他 | 1,030 | 1,011 |
| 固定負債合計 | 75,341 | 73,035 |
| 負債合計 | 124,805 | 114,807 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 21,822 | 21,822 |
| 資本剰余金 | 19,175 | 19,175 |
| 利益剰余金 | 70,539 | 72,659 |
| 自己株式 | △9,154 | △9,155 |
| 株主資本合計 | 102,383 | 104,502 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 13,997 | 11,347 |
| 為替換算調整勘定 | △2,199 | △1,846 |
| その他の包括利益累計額合計 | 11,798 | 9,501 |
| 新株予約権 | 89 | 98 |
| 少数株主持分 | 6,016 | 6,136 |
| 純資産合計 | 120,287 | 120,238 |
| 負債純資産合計 | 245,092 | 235,045 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) |
|--------------|---|---|
| 営業収益 | | |
| 倉庫収入 | 10,733 | 11,125 |
| 港湾運送収入 | 19,747 | 18,220 |
| 国際輸送収入 | 13,599 | 12,705 |
| 陸上運送収入 | 13,856 | 13,708 |
| 海運収入 | — | 11,068 |
| 物流施設賃貸収入 | 2,473 | 2,525 |
| 不動産賃貸収入 | 4,582 | 4,640 |
| その他 | 3,311 | 2,875 |
| 営業収益合計 | 68,303 | 76,869 |
| 営業原価 | | |
| 作業諸費 | 40,212 | 46,939 |
| 人件費 | 8,494 | 8,505 |
| 賃借料 | 3,809 | 4,653 |
| 租税公課 | 987 | 937 |
| 減価償却費 | 2,635 | 2,949 |
| その他 | 3,431 | 3,535 |
| 営業原価合計 | 59,571 | 67,520 |
| 営業総利益 | 8,732 | 9,348 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 給料手当及び福利費 | 1,875 | 2,163 |
| 賞与引当金繰入額 | 304 | 303 |
| 退職給付費用 | 111 | 114 |
| のれん償却額 | 66 | 191 |
| その他 | 1,285 | 1,513 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 3,643 | 4,285 |
| 営業利益 | 5,089 | 5,062 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 726 | 741 |
| 持分法による投資利益 | 186 | 40 |
| その他 | 105 | 178 |
| 営業外収益合計 | 1,018 | 959 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 376 | 365 |
| その他 | 167 | 113 |
| 営業外費用合計 | 544 | 478 |
| 経常利益 | 5,563 | 5,544 |

(単位:百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 25 | 15 |
| 特別利益合計 | 25 | 15 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 172 | 128 |
| 投資有価証券評価損 | 133 | 118 |
| ゴルフ会員権評価損 | — | 9 |
| 貸倒引当金繰入額 | 148 | — |
| 災害による損失 | 61 | — |
| 特別損失合計 | 517 | 256 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 5,071 | 5,303 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,654 | 1,820 |
| 法人税等調整額 | 160 | 131 |
| 法人税等合計 | 1,815 | 1,951 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 3,256 | 3,351 |
| 少数株主利益 | 171 | 162 |
| 四半期純利益 | 3,084 | 3,189 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 3,256 | 3,351 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △3,617 | △2,683 |
| 為替換算調整勘定 | 162 | 359 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △2 | 13 |
| その他の包括利益合計 | △3,457 | △2,310 |
| 四半期包括利益 | △201 | 1,041 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △350 | 892 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 148 | 148 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 5,071 | 5,303 |
| 減価償却費 | 2,985 | 3,342 |
| 災害損失 | 61 | — |
| のれん償却額 | 66 | 191 |
| 引当金の増減額(△は減少) | △14 | △164 |
| ゴルフ会員権評価損 | — | 9 |
| 受取利息及び受取配当金 | △726 | △741 |
| 支払利息 | 376 | 365 |
| 持分法による投資損益(△は益) | △186 | △40 |
| 固定資産売却損益(△は益) | △25 | △15 |
| 固定資産除却損 | 172 | 128 |
| 投資有価証券評価損益(△は益) | 133 | 118 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △369 | 363 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 239 | △475 |
| その他 | △1,096 | 249 |
| 小計 | 6,689 | 8,635 |
| 利息及び配当金の受取額 | 753 | 747 |
| 利息の支払額 | △370 | △390 |
| 災害損失の支払額 | △179 | — |
| 法人税等の支払額 | △1,541 | △2,010 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 5,351 | 6,980 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △10,761 | △7,384 |
| 定期預金の払戻による収入 | 12,878 | 8,074 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △2,755 | △7,122 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 44 | 27 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △193 | △584 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △19 | △42 |
| 子会社株式の取得による支出 | △4,771 | — |
| 貸付けによる支出 | △85 | △57 |
| 貸付金の回収による収入 | 32 | 231 |
| その他 | 198 | △858 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △5,432 | △7,717 |

(単位:百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) |
|--------------------------------|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | 4,352 | 4,469 |
| 短期借入金の返済による支出 | △4,535 | △4,250 |
| 長期借入れによる収入 | 310 | 12,320 |
| 長期借入金の返済による支出 | △687 | △20,921 |
| 少数株主からの払込みによる収入 | 1,500 | — |
| 配当金の支払額 | △892 | △1,069 |
| その他 | △50 | △72 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △3 | △9,525 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 100 | 204 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 16 | △10,057 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 15,249 | 22,703 |
| 連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 30 | — |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 15,295 | 12,646 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|------------------------|---------|-------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 物流事業 | 不動産事業 | 計 | | |
| 営業収益 | | | | | |
| 外部顧客への営業収益 | 63,670 | 4,632 | 68,303 | — | 68,303 |
| セグメント間の内部営業収益 又は振替高 | 4 | 202 | 206 | △206 | — |
| 計 | 63,675 | 4,835 | 68,510 | △206 | 68,303 |
| セグメント利益 | 4,223 | 2,754 | 6,978 | △1,888 | 5,089 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,888百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,880百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社及び一部の連結子会社の管理部門に係る費用である。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|------------------------|---------|--------|-------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 物流事業 | 海運事業 | 不動産事業 | 計 | | |
| 営業収益 | | | | | | |
| 外部顧客への営業収益 | 61,092 | 11,068 | 4,708 | 76,869 | — | 76,869 |
| セグメント間の内部営業収益 又は振替高 | 227 | 90 | 197 | 515 | △515 | — |
| 計 | 61,320 | 11,158 | 4,906 | 77,385 | △515 | 76,869 |
| セグメント利益 | 4,091 | 103 | 2,768 | 6,963 | △1,900 | 5,062 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,900百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,962百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社及び一部の連結子会社の管理部門に係る費用である。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

当社は、海運事業を営むWestwood Shipping Lines, Inc.を連結子会社とし、前第4四半期連結会計期間から、新たに海運事業を開始したことに伴い、同会計期間から「海運事業」を報告セグメントに追加している。

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間から、平成24年4月1日以後に取得した定率法を採用している有形固定資産の減価償却の方法について、改正後の法人税法に基づく定率法に変更している。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益が、「物流事業」で6百万円、「海運事業」で0百万円、「不動産事業」で5百万円、それぞれ増加している。